

心理学

Psychology

准教授 松井 三枝 Mie Matsui
特命助教 片桐 正敏 Masatoshi Katagiri

◆ 研究概要

- 1) 統合失調症における認知機能障害の神経機構の解明
- 2) 前頭葉機能の役割とその障害の神経基盤に関する神経心理学的・神経機能画像的手法を用いた総合的研究
- 3) 記憶の神経機構と記憶障害の病態解明に関する神経心理学的研究
- 4) 脳構造および脳機能の発達と性差についての脳画像的・認知科学的研究
- 5) 高次脳機能障害のリハビリテーションの開発と効果研究

◆ 著書

- 1) 松井三枝：認知リハビリテーション（統合失調症）。「精神医学キーワード事典」松下正明総編，681-683，中山書店，東京，2011.
- 2) 松井三枝：認知リハビリテーション（脳器質性疾患）。「精神医学キーワード事典」松下正明総編，725-727，中山書店，東京，2011.
- 3) テイル・ワイクス，クレア・リーダー著，松井三枝（監訳）：「統合失調症の認知機能改善療法」，金剛出版，東京，2011.

◆ 原著

- 1) Hashimoto N., Matsui M., Kusumi I., Toyomaki A., Ito K., Kako Y., and Koyama T. : Effect of explicit instruction on Japanese Verbal Learning Test in schizophrenia. *Psychiatry Research*, 188: 289-290, 2011.
- 2) Sumiyoshi T., Higuchi Y., Matsui M., Itoh H., Uehara T., Itoh T., Arai H., Takamiya C., Suzuki M., and Kurachi M. : Membrane fatty acid levels as a predictor of treatment response in chronic schizophrenia. *Psychiatry Research*, 186: 23-27, 2011.
- 3) Matsuda Y., Matsui M., Tonoya Y., Ebihara N., and Kurachi M. : Useful visual field in patients with schizophrenia: a choice reaction time study. *Perceptual and Motor Skills*, 112(2): 369-381, 2011.
- 4) Sakai T., Mikami A., Tomonaga M., Matsui M., Suzuki J., Hamada Y., Tanaka M., Miyaba-Nishiwaki T., Makishima H., Nakatsukasa M., and Matsuzawa T. : Differential prefrontal white matter development in chimpanzees and humans. *Current Biology*, 21(16): 1397-1402, 2011.
- 5) 奈良原光隆，松井三枝，宮崎 淳，小林恒之，西条寿夫：自己意識的情動の生起がモラル意識に与える影響—近赤外線分光法による検討—。人間環境学研究，9（1）：1-7，2011.
- 6) 中坪太一郎，松岡 理，古市厚志，今村理佐，荒井宏文，藪田 歩，松井三枝，鈴木道雄，倉知正佳：統合失調症の認知機能障害に関するセッションを取り入れた家族心理教育の試み。精神療法，37（1）：89-95，2011.
- 7) 柿本多千代，松井三枝，中澤 潤，吉田丈俊，市田露子：Bayley 乳幼児発達検査（第3版）の有用性。富山大学医学学会誌，22（1）：28-32，2011.

◆ 学会報告

- 1) Yasuoka K.*, Matsui M., Matsuoka T., and Suzuki M. : The relationship between brain volume/brain blood flow and neuropsychological function in Alzheimer's disease: examination by VSRAD, eZIS and Brief-Neuropsychological Scale. 9th Tsukuba International Conference on Memory, 2011, 3, 6-8, Tokyo.
- 2) Matsui M., Takeuchi A., Katagiri M., Suzuki M., and Murohashi H. : Deficit in shifts of attention to different levels of global-local stimuli in schizophrenia. 13th International Congress on Schizophrenia Research, 2011, 4, 5, Colorado Springs, Colorado, USA.
- 3) Matsui M., Miyazaki A., and Nishijo H. : Selection of memory strategy and brain activity during metamemory process: a near-infrared spectroscopy study. 2011 International Neuropsychological Society Mid-year Meeting, 2011, 7, 6-9, Auckland,

New Zealand.

- 4) Matsui M., Takeuchi A., Matsuda Y., Katagiri M., Suzuki M., and Murohashi H. : Deficit in shifts of attention to different levels of global-local stimuli in patients with schizophrenia. 2011 International Neuropsychological Society Mid-year Meeting, 2011, 7, 6-9, Auckland, New Zealand.
- 5) Ibuki K., Watanabe K., Yoshimura N., Kakimoto T., Matsui M., Saito K., Ozawa S., Hirono K., Yoshida T., Noguchi K., and Ichida F. : The improvement of hypoxia correlates with neuroanatomical and developmental outcomes in infants with transposition of the great arteries or single ventricle physiology. The American Heart Association's Scientific Sessions 2011, 2011, 11, 13-15, Orlando, Florida, USA.
- 6) 安岡香苗*, 松井三枝, 松岡 理, 鈴木道雄: アルツハイマー病における脳形態および脳血流の変化と神経心理機能の関連—VSRAD, eZIS と簡易神経心理学検査を用いて—。第 178 回北陸精神神経医学会, 2011, 1, 23, 金沢。
- 7) 竹内あゆみ, 松井三枝, 古市厚志, 樋口悠子, 中村主計, 田中耕大, 松岡 理, 瀬尾友徳, 住吉太幹, 鈴木道雄: 統合失調症患者における運転能力と視覚的情報処理の関連性—運転シミュレーターを用いた研究。第 178 回北陸精神神経医学会。2011, 1, 23, 金沢。
- 8) 酒井朋子, 松井三枝, 中務真人, 友永雅己, 三上章允, 鈴木樹理, 濱田 穰, 田中正之, 宮部-西脇貴子, 巻島美幸, 松沢哲郎: チンパンジーとヒトにおける脳の発達過程—ヒトの脳の進化的基盤の理解にむけて—。日本赤ちゃん学会第 11 回学術集会, 2011, 5, 7-8, 各務原。
- 9) 松井三枝, 竹内あゆみ, 片桐正敏, 松田幸久: 統合失調症患者の Global-Local 処理における注意移動の障害。日本認知心理学会第 9 回大会, 2011, 5, 28-29, 東京。
- 10) 松井三枝: 人間らしさと精神—脳の健康をめざして—。日本学術会議中部地区会議学術講演会, 2011, 6, 24, 富山。(招待講演)
- 11) 伊吹圭二郎, 齋藤和由, 柿本多千代, 小澤綾佳, 渡辺一洋, 吉田丈俊, 市田露子, 宮脇利男, 日隈智憲, 芳村直樹, 松井三枝: 先天性心疾患児において低酸素血症の改善は脳の成長と発達予後を改善する—完全大血管転位症と単心室症の中期予後の比較。第 47 回日本小児循環器学会総会, 2011, 7, 6-8, 福岡。
- 12) 國見充展, 伊丸岡俊秀, 松田幸久, 松本 圭, 松井三枝: fMRI による感情刺激処理時の脳活動の検討。第 13 回日本ヒト脳機能マッピング学会, 2011, 9, 1-2, 京都。
- 13) 松井三枝: 神経心理機能からみた統合失調症, 第 11 回日本音楽療法学会, 2011, 9, 9, 富山。(招待講演)
- 14) 松井三枝: ワークショップ「現場に役立つ心理学 (2) —認知リハビリテーションにおける評価と実践—」指定討論。日本心理学会第 75 回大会, 2011, 9, 17, 東京。
- 15) 片桐正敏, 松井三枝, 川西哲子, 室橋春光: アスペルガー症候群のある人の注意の切り替え—一部分から全体への注意の切り替えの問題について—。第 16 回日本認知神経科学会, 2011, 10, 23, 北九州。
- 16) 松井三枝, 柴田多美子, 松田幸久, 片桐正敏: 統合失調症の認知機能改善療法の効果研究に向けて。第 11 回精神疾患と認知機能研究会, 2011, 11, 5, 東京。
- 17) 竹内あゆみ, 松井三枝, 片桐正敏, 松田幸久, 古市厚志, 樋口悠子, 中村主計, 田中耕大, 松岡 理, 瀬尾友徳, 住吉太幹, 鈴木道雄: 統合失調症患者における運転能力と視覚的情報処理の関連性—運転シミュレーターを用いた研究—。第 11 回精神疾患と認知機能研究会, 2011, 11, 5, 東京。
- 18) 酒井朋子, 松井三枝, Malkova L., 三上章允, 中務真人, 友永雅己, 鈴木樹理, 濱田 穰, 田中正之, 宮部貴子, 巻島美幸, 松沢哲郎: チンパンジーの脳組織の発達過程はヒトの脳進化を理解するうえでの新たな見識を与える。第 65 回日本人類学会, 2011, 11, 4-6, 那覇。
- 19) 村中泰子, 西山志満子, 松本 圭, 中島真由美, 谷川智子, 黒崎実千代, 中松美由紀, 佐藤梨穂, 武田広子, 瀧波賢治, 鈴木道雄, 松井三枝: 勤労者を対象とした認知行動療法を取り入れたこころの健康づくり (第一報)。日本行動療法学会第 37 回大会, 2011, 11, 26-28, 東京。
- 20) 伊丸岡俊秀, 國見充展, 松田幸久, 松本 圭, 松井三枝, 西条寿夫: 表情判断の神経基盤と社交不安特性の関係。日本基礎心理学会第 30 回大会, 2011, 12, 3-4, 東京。
- 21) 西山志満子, 高橋 努, 田中耕大, 古市厚志, 松岡 理, 樋口悠子, 住吉佐和子, 上野舞里子, 松井三枝, 住吉太幹, 倉知正佳, 鈴木道雄: 統合失調症の各病期における自我障害の検討。第 15 回日本精神保健・予防学会学術集会, 2011, 12, 3-4, 東京。
- 22) 片桐正敏: 「学習障害や自閉症障害, 言語発達遅滞の今～発達障害との強制実現に向けた 10 の提言」話題提供。第 2 回国際シンポジウムアジアにおける社会的弱者との真の共生を目指して—医療・福祉・教育の連携と提言—。2011, 12, 10-11, 富山。

◆ その他

- 1) 松井三枝：統合失調症の認知機能と心理的側面1．平成22年度富山市統合失調症家族教室，2011，3，2，富山．
- 2) 松井三枝：統合失調症の認知機能と心理的側面2．平成22年度富山市統合失調症家族教室，2011，3，10，富山．
- 3) 松井三枝：統合失調症の認知機能障害と認知リハビリテーション．日本学術会議中部地区会議ニュース，130：10-11，2011．
- 4) 松井三枝：精神神経疾患の心理社会的治療のために．医報とやま，1529：5，2011．
- 5) 松井三枝，本島優子，柿本多千代，市田路子：成人に達した先天性心疾患患者の心理・行動の特徴とその関連要因の検討．厚生労働省科学研究費補助金循環器疾患等生活習慣病対策総合研究事業「成人に達した先天性心疾患患者の診療体制の確立に向けた総合的研究」平成22年度総括・分担研究報告書，100-145．
- 6) 松井三枝：統合失調症のための認知リハビリテーション．あしたの会家族教室講演会，2011，8，9，富山．（招待講演）
- 7) 松井三枝：認知症の早期診断と早期介入のための認知機能検査について．群馬大学医学部講演会，2011，10，20，前橋．（招待講演）
- 8) 松井三枝：高次脳機能障害の評価．群馬大学医学部講義，2011，10，20，前橋．
- 9) 松井三枝：人間らしさと精神一脳の健康をめざして一．日本学術会議中部地区会議ニュース，131：5-7，2011．
- 10) 松井三枝：こころの病気を知ろうー統合失調症を中心にー．富山市メンタルヘルスサポーター研修会，2011，11，24，富山．（招待講演）
- 11) 松井三枝，長崎真梨恵，笠井悠一：日本語版神経心理検査RBANSの標準化研究（3）ー総指標ー．富山大学杉谷キヤンパス一般教育研究紀要，39：17-30，2011．